



会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
今回は、9月の「生涯学習支援研修」のご案内を中心に配信いたします。

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

「生涯学習支援研修」開催のご案内

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

◆生涯学習支援研修（基礎編）の詳細が決まりました。

対象者は、老年看護に携わる実践者および教育者で、会員・非会員を問いません。

参加費は、各会場とも会員 1,000 円、非会員 2,000 円です。ふるってご参加ください。

① 埼玉会場

- ・日 時 : 2013年9月11日(水) 14:00~17:00
- ・会 場 : 埼玉県立大学 (埼玉県越谷市三野宮 820)
- ・定 員 : 150名 (先着順)
- ・申 込 : 学会ホームページ (<http://www.rounenkango.com/>) の参加申込フォームよりお申し込みください。
- ・内 容 :
 1. 高齢者のリハ看護～動きを手伝い、動きを引き出す～
講師 岩崎友理子氏 老人看護専門看護師
(千葉県千葉リハビリテーションセンター)
 2. 高齢者の体の痛み～慢性痛へのアセスメントとケア～
講師 高井ゆかり氏
(群馬大学大学院保健学研究科保健学専攻 講師)

② 宮城会場

- ・日 時 : 2013年9月23日(月、祝日) 13:00~16:00
- ・会 場 : 宮城大学 (宮城県黒川郡大和町学苑 1-1)
- ・定 員 : 150名 (先着順)
- ・申 込 : 学会ホームページ (<http://www.rounenkango.com/>) の参加申込フォームよりお申し込みください。
- ・内 容 :
 1. 高齢者の老性変化 ～呼吸・循環機能のアセスメントとケア～
講師 小野幸子氏
(宮城大学看護学部老年看護学領域 教授)
 2. 高齢者の老性変化 ～排尿・排便機能のアセスメントとケア～
講師 佐藤和佳子氏
(山形大学医学部看護学科臨床看護学講座 教授)

※詳しくは学会ホームページ (<http://www.rounenkango.com/>) をご参照のうえ、
皆さまの同僚や実習病院等の関係者の皆さまにもお知らせください。

※基礎編の研修は、沖縄地域で10月24日(木)、北海道地域で11月24日(日)
が予定されております。詳細が決まり次第、HPに掲載いたします。

.-----.
災害支援検討委員会からのご案内
.-----

◆「災害看護支援事業」への募金のご協力をお願いします

日本看護系学会協議会と日本看護科学学会は、2011年度より連携して
「災害看護支援事業」を行っています。

この事業では、会員個々より募金をつのり、そのお金で各学会の会員が行っている
災害支援のための看護活動に助成しております。

日本老年看護学会も、日本看護系学会協議会の一員として、この事業に
協力してまいりました。事業は継続しておりますので、募金にご協力ください。
詳細は、下記ホームページをご参照ください。

<http://www.jana-office.com/news/news20130717.pdf>

また、災害支援を行っている皆様におかれましては助成金の公募ができましたら
お知らせしますので、応募していただきたいと思っております。

災害看護の長期的な活動に関心をもっていただき、ぜひ参加・ご協力
をお願いいたします。

◆原稿募集

災害支援検討委員会では、会員が行っている災害支援活動や被災地の現状、
あるいは災害時の体験、災害に備えるための活動などの原稿を募集しております。
ホームページや学会誌に掲載し、情報を発信していきたいと思っておりますので、
ご協力をお願いします。

活動や現状をご報告いただける方は、学会事務センターまでお知らせください。

(E-mail : rounenkango@nqfm.ftbb.net)

.-----.
老年看護政策検討委員会からのご報告
.-----

日本看護系学会協議会から会員学会あてに、現在、厚生労働省のチーム医療
推進会議が意見募集を行っている「診療の補助における特定行為(案)と
指定研修における行為群(案)に関する意見の募集」について、
各学会の意見の募集がありました。

これを受けて、老年看護政策検討委員会では短期間でしたが、
認知症看護認定看護師、老人看護専門看護師、ならびに理事に意見を求めました。
現在、意見の取りまとめを行っており、8月5日までに提出する予定です。

意見をお寄せいただいた会員諸氏の方々に御礼を申し上げます。

.....

各種情報提供

.....

◆「東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査」報告書について
昨年度、本学会も協力した上記調査の結果が、日本学術会議より届きました。
協力した内容は「記録」（本学会の内容は136頁）として残し、それに基づく「提言」
（本学会の内容は110頁）が文部科学省に提出された、とのこと。

- ・ 提言「東日本大震災に係る学術調査―課題と今後について―」

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-t170-1.pdf>

- ・ 記録「東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査（第2回）
調査報告書」

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kiroku/1-250627.pdf>

◆メルマガ7号でもお知らせいたしましたが、日本老年医学会では8月末まで、
「Frailty」の日本語訳を募集しています。
詳しくは学会ホームページ（<http://www.rounenkango.com/>）をご参照ください。

+.....+

< 発 行 >

日本老年看護学会 総務広報

担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）

+.....+

※このメールは2013年8月5日現在のご登録情報をもとにお送りしております。

配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。本メールへの返信はできません。

お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

<発信元>

日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 株式会社ワールドプランニング内

Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

+.....+